

幕末の軍事改革と佐賀藩

第8回 地域学シンポジウム

西洋列強が世界中に勢力を広げ、歴史がグローバルに連動する時代としての19世紀。

このとき西洋の軍事力を目の当たりにした日本、そして佐賀藩の人々は、どう反応したのか。

あらためてこの問題をめぐる研究の最前線を確認してみたい。

平成28年

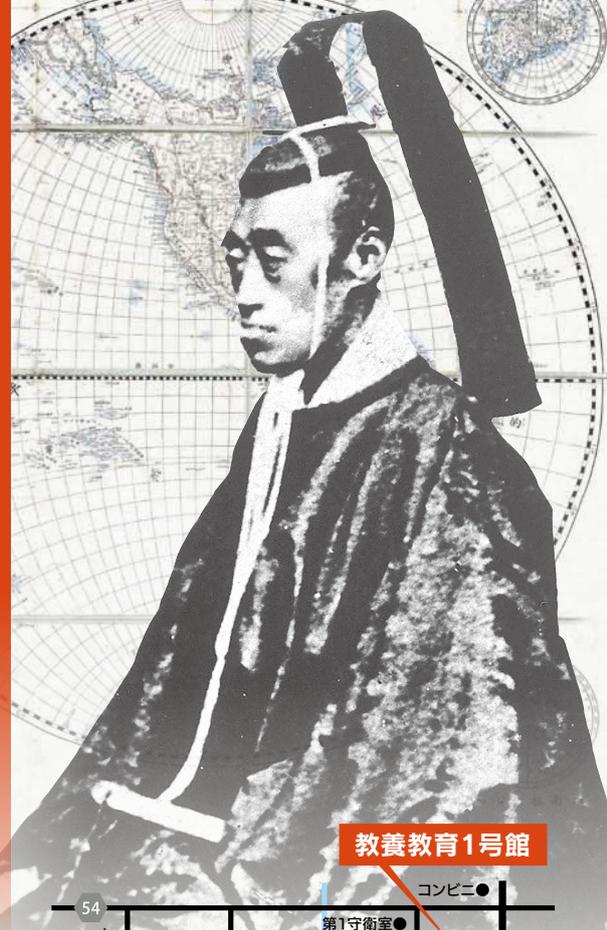
3月13日 日 13:00~17:00

佐賀大学本庄キャンパス
教養111番講義室(教養教育1号館)

●保谷 徹 東京大学史料編纂所教授
基調講演「幕末軍制改革の世界史的位置」

●吉岡 誠也 中央大学大学院文学研究科博士後期課程
報告「幕末の長崎警衛と佐賀藩」

●伊藤 昭弘 佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授
報告「幕末佐賀藩の小銃調達
-「拝領買」を中心に-」



※お車の方は、南門から入り、図書館北のゲートをお通り下さい。

【主催・お問い合わせ先】
佐賀大学地域学歴史文化研究センター
〒840-8502 佐賀市本庄町1
TEL/FAX. 0952-28-8378

写真出典 ● 三重津海軍所跡全景:佐賀市教育委員会 提供
スナイドル銃・エンフィールド銃:岩松要輔氏 提供
その他:国立国会図書館ウェブサイト



入場無料
事前参加
申し込み不要